

LIBRARY TIMES



鎌ヶ谷市立第三中学校 図書館だより No. 4 2014/9月

皆さん、充実した夏休みを過ごしましたか？まだまだ暑い日が続きますが読書の秋ももうすぐにやってきます。2 学期には「読書週間」があります。たくさん本と出会えるように、貸出冊数を増やすなど計画をしています。借りた本を返却していないと追加で貸出することはできませんので、きちんと返却してください。

めざせ！督促状〇（ゼロ）！！

返却方法が変わります

これまで …… 返却した本は 係が棚へ戻す

これから …… 返却した本は 自分で棚へ戻す

先に返却手続きをすませてから新しく借りる本を探しにいきましょう。

- 変更の理由…
- ① たくさん本が借りられるようになって、棚に戻す作業が大変になったこと
→ ダンボールいっぱい本を棚に戻すのはとても時間がかかります。
 - ② 昼休みの最後に返却と貸出が集中するので手続きが遅れてしまうこと
→ チャイムが鳴ってから並ぶ人が多いです。当番がチャイム着席に遅れてしまいます。先に返却をすることで作業を分散することができます。
 - ③ 最後まで責任を持って本を扱ってほしい
→ 最近、本棚の乱れがひどくなっています。適当に置かれた本は探すのが大変です。他の人の迷惑にもなります。自分で戻すことで本の場所を覚える習慣がつかまずし、返す場所が分からなくなった人にも教えてあげることができます。皆で棚の整頓ができるようになってほしいからです。

最初はとまどうと思いますが、小学校でも経験しているから大丈夫！…だよな？

新着図書が追加されました

- 『雑草たちの陣取り合戦』
- 『高校入試5科ベスト過去問 2014 年度』
- 『中学生の成績が上がる！教科別「ノートの取り方」最強ポイント55』
- 『デザイン素材集・世界の文様』
- 『色の事典 一色彩の基礎・配色・使い方』
- 『フェアトレード@Life』
- 『村上海賊の娘』上・下』

9月のリクエストは
16日で締め切ります。
それ以降は3学期の注文
となります。お早めに。

オリビア先生からのプレゼント

オリビア先生から皆さんに本のプレゼントがありました。

『in the garden』

『at the beach』

どちらも英語の本ですが、庭や海にいる生き物が美しく描かれています。また、それらの生き物についての説明も図鑑のように詳しく載っているので、英語ではどのように説明されているのかもよく分かります。

見て楽しむだけでなく、色々な勉強にも役立つ本です。

このほかにも4月にオリビア先生が好きだった本として紹介した『The cat in the hat』や、かえる君とがま君の交流を描いた『Frog and Toad all year』も入りました。洋書にふれてみよう！

9月の開館予定

★（ ）内は昼休みの学習委員当番クラスです。

時間は図書室前の掲示板で確認してください。予定が変更になる場合もあります。

月	火	水	木	金
1日	2日開館 (3-4)	3日	4日開館 (3-5)	5日開館 (2-1)
8日	9日開館 (2-2)	10日	11日開館 (2-3)	12日開館 (2-4)
15日敬老の日	16日開館 (1-1)	17日	18日開館 (1-2)	19日開館 (なし)
22日開館 (なし)	23日秋分の日	24日	25日開館 (なし)	26日開館 (なし)
29日振替休業	30日開館 (1-3)			

裏面へGO!

夏司書が読んだ本

長期貸出ではたくさんのお本が読まれました。おもしろかった本などを紹介カードに書いて、是非みんなにも教えてあげましょう！

『わたしは目で話します』

(たかおまゆみ/著 偕成社) NDC916タ

私は氷水をかぶるかわりに、紹介します。

この夏、アメリカでALSという難病を知ってもらうために患者さんの父親が氷水をかぶり話題になりました。氷水をかぶる行為が一人歩きして問題にもなっているようですが、ALSという病気についての関心は広まったのではないのでしょうか。

ALSは筋肉を動かす神経細胞が少しずつ働かなくなり、体を動かすことができなくなっていく病気です。普段は意識していませんが、人の体は肺も横隔膜という筋肉によって動いています。病気が進むと横隔膜も動かなくなり呼吸ができなくなってしまいます。

この本の副題には「文字盤で伝える難病ALSのこと そして言葉の力」とあります。話すことが困難になると文字盤を使ってコミュニケーションをとらなくてはいけなくなります。では実際にどうやって文字盤を使うのでしょうか？著者はこの本を、文字盤を使って書き上げました。本を読むとそれがどんなに大変なことか分かると思います。

病気について知ること以外にも思いを伝えることの難しさとか言葉の大切さが伝わってきます。著者は聾学校の教師からドイツ語の翻訳者と言葉を使う仕事をしてきました。困難な状況でも精力的に活動する姿に自分もできることを一生懸命やらなくてはという気持ちに刺激をもらいました。

『赤毛のゾラ』 上・下 NDC943ハ

(クルト・ヘルト/作 長崎出版)

舞台はクロアチアの港町。母親と二人暮らしをしていた少年ブランコ。母親が亡くなり、ひとりぼっちになってしまいますがゾラという女の子をリーダーにした同じような境遇の子供達と仲間になります。この子供達は、生きるために盗みなどの悪いこともしているので町の人からも煙たがられています。

町で暮らす人達にも悩みや問題を抱えています。この町の人たちの暮らしは？子供達はどうか？

『マイナークラブハウスへようこそ』 1~3

NDC913キ (木地雅映子/作 ポプラ社)

華やかな運動部とは裏腹にひっそりと存在するマイナークラブハウスは少人数の文化サークルの集まり。そこには一筋縄ではいかない個性あふれすぎるメンバーが集う。お気楽に学校生活を楽しんでいるようにも見える彼らだが、それぞれ事情があるようで……。高校生の飲酒などおすすりできない部分もありますが、はじけた彼らのつきぬけたおもしろさや仲間の痛みをそっと包むようなやさしさが楽しめます。完結していないので続きが気になるシリーズとなりました。

『ボーナス・トラック』 NDC913コ (越谷オサム/作 東京創元社)

大手ハンバーガーチェーンに勤める主人公。勤務はハードで家には寝に帰るだけ。ある日の帰り道、ひき逃げ死亡事故に出くわしてしまう。

その後なぜか被害者の幽霊が見えるようになってしまい、混乱しながらも人生が少しずつ変わり始める。

悲惨な事故にあったにもかかわらず、明るく軽いノリの幽霊亮太。主人公はひき逃げの犯人を捜すパトロールを始めるうちに色々な幽霊にも出会っていく。はたしてひき逃げ犯はみつかるのか？楽しくユーモアたっぷりの一冊。

『成風堂書店事件メモ』シリーズ NDC913オ (大崎梢/作 東京創元社)

『配達あかずきん』『晩夏に捧ぐ』『サイン会はいかが？』

しっかり者の杏子と勘の鋭いアルバイト多絵が働くのはとある駅ビルにある書店。そこをおとずれるお客さんからまいこむ依頼を受けるうちに二人は色々な謎にどむこととなります。

「いいよんさんわん」という暗号の解読や本の配達にからんだ事件の解決、老舗の書店に現れる幽霊の謎など不思議な出来事を本屋らしいひらめきや知識で解決していきます。3冊のシリーズで描かれる出来事は色々で豊かな人間模様がうかがえます。本屋という舞台にぎゅっと詰まっているところがおもしろく、それぞれに好きな話が見つかるのではないのでしょうか。

『ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと』

NDC689カ (鎌田洋/作 ソフトバンククリエイティブ)

「いいかい？僕はね、子供が床にポップコーンを落としても、

躊躇なく拾ってたべられるくらい、床を綺麗にしてほしいんだ」

本場のディズニーランドで「そうじの神様」と呼ばれたチャック・ボヤージン氏が言った言葉だそうです。作者は研修でその言葉を聞き、後に掃除を担当する人達を指導する立場になります。そのときのエピソードをまとめたこの本からは、単にそうじの大切さだけではなく、人と人がふれあうことの意味や素晴らしさも感じることができます。仕事を通じてそれを感じることができるのはとても幸せなことだと思います。これから社会に出て行くみなさんに大切なことを教えてくれるはずですよ。

●これらの本は新着図書コーナーに並べておきます。紹介カードをかいてくれる人は司書まで声をかけてください。用紙を渡します。